

## MSUB における ESL プログラムについての報告

環境共生学部 環境共生学科 食健康環境学専攻  
2年 2143019 唯見友菜

2月17日から3月22日までの約1か月間、本学の協定校である Montana State University Billings が主催の ESL プログラムに参加しました。参加したきっかけは、昔から英会話に興味を持っており、一度はホームステイを経験したいと思っていたからです。しかし、私の専攻は英語ではなく、高校生以来本格的な英語には触れていなかったため「本当にやっていけるのだろうか」と始めは不安も大きかったものの、海外の広さや現地の人との会話を肌で感じたいという思いが強く、参加を決意しました。当日までの準備として、ネイティブの英語の速さに慣れるために動画を見たり、日常でよく使う英語を調べたり、日本や熊本県・自分の地元について説明できるようにしていました。また、グローバルラウンジで個別のチュータリングの講座も受けました。できるだけ準備は行い、あとは現地で何でもトライすること、楽しむことを目標にして気持ちを整え、当日を迎えました。

ビルングスに到着してからはすぐにホストファミリーと合流し、週末を共に過ごしました。始めは準備していたように上手くは話せず、コミュニケーションをとることさえ困難でしたが、分からない単語はその場ですぐにメモし、ファミリーに聞いたり後で調べたりするなど、何度も繰り返すうちに自然と耳が慣れ、会話も弾むようになりました。1週間を過ぎたあたりから、毎晩ディナーを食べ終わってからも話が途切れずに2時間近く話すことが日課になり、とても嬉しかったのと同時に自分の成長を感じたのを覚えています。



平日は学校に行き、お昼過ぎまでは授業、その後アクティビティに取り組みました。授業は Writing, Reading, Listening & Speaking の3つに分かれており、どの先生方も音楽や動画、自分の趣味などを通して活動的に教えてくださり、私たち生徒も応えるように質問や発言をして、非常に実りのある時間を過ごしました。アクティビティでは、博物館に行ったり伝統的なラインダンスするなどアメリカ文化を体験したり、反対に折り紙や茶道を教えるなど日本文化を共有したりもしました。また、ショッピングや運動をする機会もあり、バラエティに富んだ充実した経験を得ることができました。

ビリングスで過ごしたこの一か月間、沢山のひととの出会いや刺激を受け、自分の語学力の向上はもちろん、視野の広い考えを持つことができるようになりました。行く前は英語を話すことに自信が無く不安が大きかったですが、今では間違えることを恐れずに発言できるようになり、メンタル面での成長も感じました。また、優しい先生方やホストファミリー、町の人々と出会えたこと、すべての貴重な経験ができたのは支えてくれた CIEE の皆さん、MSUB の皆さん、家族や友人のおかげです。このプログラムに参加したことは、自分の大きな自信になりました。今後も英語に触れる努力を惜しまず、成長していきます。

